

2021年度第3四半期決算 電話会議 資料

2022年2月14日（月）

立ちどまらない保険。

MS&AD

INSURANCE GROUP

本日のポイント

2021年度第3四半期 業績

<トップライン>

- ・正味収入保険料は683億円、2.6%の増収。2019年度対比でも217億円の増収。
- ・国内損保2社は、火災保険や自賠責保険が減収となったものの、自動車保険や新種保険の増収により0.9%の増収。海外保険子会社は、引受厳選による減収等もあったものの、料率引き上げや為替影響等により9.4%の増収。
- ・国内生保子会社のグロス収入保険料は、MSP生命の大幅な増収により16.4%の増収。

<ボトムライン>

- ・四半期純利益は、545億円増益の2,046億円（進捗率89.0%）。
- ・グループ修正利益は、747億円増益の2,760億円（進捗率92.0%）。
- ・国内損保事業は保険引受利益、資産運用利益ともに好調なことから、404億円の増益（進捗率97.1%）。
- ・国内生保事業はMSA生命、MSP生命ともに好調なことから55億円の増益（進捗率123.3%）。
- ・海外事業は、新型コロナ影響の剥落や海外生保の大幅な増益などにより296億円の増益となったものの、通期予想に対する進捗率は50.4%となった。

全体目次

2021年度第3四半期決算の概要

グループ連結	P5-12
国内損害保険会社	P13-15
国内生命保険会社	P16-17
海外保険子会社	P18
（参考）国内損害保険会社主要 2 社の業績概要	P19-21
（参考）MS Amlin 業績概要	P22
（参考）ESRの状況	P23

<参考掲載> 2021年度業績予想（2021年11月19日発表）

グループ連結	P25-28
今回業績予想の主な前提	P29
国内損害保険会社	P30-31
国内生命保険会社	P32-33
海外保険子会社	P34
（参考）国内損害保険会社主要 2 社の概要	P35-36
（参考）MS Amlin 業績予想	P37

※決算データにつきましては、当社ホームページに掲載しています「国内損保決算データ集(Excelファイル)」もご参照ください。

2021年度第3四半期決算の概要

損保子会社

(億円)

	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	前年同期比	増収率
元受正味保険料(除く収入積立保険料)	28,686	28,553	29,186	633	2.2%
正味収入保険料	27,253	26,787	27,470	683	2.6%
三井住友海上	11,535	11,684	11,787	103	0.9%
あいおいニッセイ同和損保	9,626	9,603	9,700	96	1.0%
三井ダイレクト損保	263	265	257	△7	△2.9%
海外保険子会社	5,819	5,233	5,725	491	9.4%

生保子会社

(億円)

	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	前年同期比	増収率
保険料(グロス収入保険料)*	10,646	8,859	10,313	1,453	16.4%
三井住友海上あいおい生命	3,828	3,758	3,705	△53	△1.4%
三井住友海上プライマリー生命	6,818	5,101	6,608	1,506	29.5%
生命保険料	7,837	1,564	4,005	2,441	156.1%

* 保険料(グロス収入保険料)は国内生保子会社のみ

グループ連結(2021年度第3四半期)①業績の概要 1(トップライン)

(損保子会社[国内・海外])

- ・正味収入保険料は、海外保険子会社、国内損保子会社ともに増収となり、前年同期比683億円、2.6%の増収。
- ・国内損保主要2社の正味収入保険料は、火災保険や自賠責保険が減収となったものの、自動車保険や新種保険の増収により0.9%、199億円の増収。
火災保険は、前期の大量更改契約の反動および2021年1月改定前の駆け込み契約の増加の反動により△134億円の減収。
自動車保険は、契約台数の増加や補償充実提案の取組みなどによる契約の単価上昇などにより204億円の増収。
新種保険は、中小企業向け商品の販売好調やニューリスク分野の大口契約獲得などにより150億円の増収。
自賠責保険は、料率改定の影響などにより△116億円の減収。
- ・海外保険子会社は、引受厳選による減収等もあったものの、料率引き上げや為替影響等により9.4%、491億円の増収。

(国内生保子会社)

- ・MSA生命:16ページを参照。MSP生命:17ページを参照。

グループ連結（2021年度第3四半期）①業績の概要 2（ボトムライン）

（億円）

	2020年度	2021年度		増減率	
	第3四半期	第3四半期	前年同期比		
経常利益	2,202	3,025	823	37.4%	
三井住友海上	1,246	1,454	207	16.6%	
あいおいニッセイ同和損保	426	759	332	78.1%	
三井ダイレクト損保	26	25	△ 1	△ 4.6%	
三井住友海上あいおい生命	209	273	64	30.5%	
三井住友海上プライマリー生命	624	535	△ 89	△ 14.3%	
海外保険子会社	10	253	242	2,206.3%	
その他・連結調整等	△ 342	△ 275	66	-	
四半期純利益 [※]	1,500	2,046	545	36.4%	
三井住友海上	835	1,103	267	32.1%	
あいおいニッセイ同和損保	298	523	225	75.6%	
三井ダイレクト損保	21	20	△ 1	△ 7.7%	
三井住友海上あいおい生命	127	170	43	34.0%	
三井住友海上プライマリー生命	359	370	10	3.0%	
海外保険子会社	△ 90	141	231	-	
その他・連結調整等	△ 52	△ 283	△ 231	-	

2021年度通期予想（11月発表）	
	進捗率
2,300	89.0%
1,380	80.0%
480	109.1%
2	1009.1%
180	94.8%
250	148.2%
390	36.3%
△ 382	-

※連結の四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益。子会社の四半期純利益は出資持分ベース。以下同じ。

グループ連結（2021年度第3四半期）①業績の概要 2（ボトムライン）

<四半期純利益>

（グループ連結）

- ・四半期純利益は2,046億円。国内損保主要2社および海外保険子会社が大きく増益となったことから、545億円の増益。

（国内損保主要2社）

- ・保険引受利益は、自動車保険のロスが前期の新型コロナ影響の剥落により増加したものの、増収に伴うアード保険料の増加や国内自然災害ロスの減少を主因に357億円の増益。
- ・資産運用・その他収支は、有価証券評価損が増加した一方で、利配収入や有価証券売却益が増加したことにより183億円の増益。
- ・四半期純利益は、493億円増益の1,627億円。

（国内生保子会社）

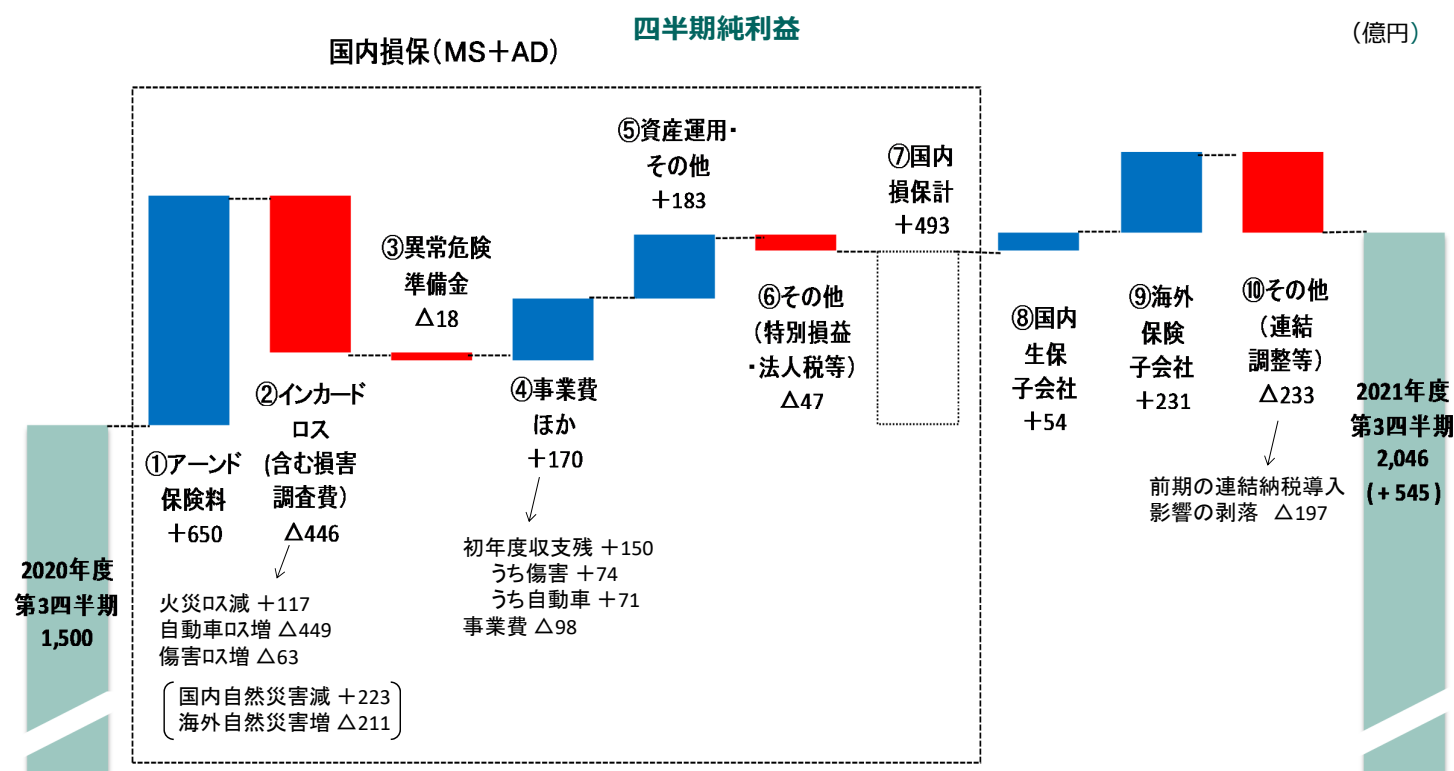
- ・MSA生命：16ページを参照。MSP生命：17ページを参照。

（海外保険子会社）

- ・海外保険子会社：18ページを参照。MS Amlin：22ページを参照。

グループ連結（2021年度第3四半期）②前年同期との比較 1

・国内損保主要2社(⑦)は、インカードロス(②)は増加したものの、アード保険料の増加(①)および資産運用・その他(⑤)の増加などにより493億円の増益。海外保険子会社(⑨)も、自然災害のロスは増加したものの、前期の新型コロナ影響の剥落および海外生保の大幅な増益などにより231億円の増益。四半期純利益は545億円の増益。



グループ連結（2021年度第3四半期）②前年同期との比較 2

四半期純利益の内訳

	2020年度第3四半期	2021年度第3四半期	前年同期比
四半期純利益	1,500	2,046	545
国内損保 ^{※1} 保険引受利益(除く家計地震・自賠責)	540	897	357
アード保険料 ①	18,647	19,298	650
インカードロス(含む損害調査費) ②	△10,925	△11,371	△446
異常危険準備金損益 ③	△574	△593	△18
事業費ほか ^{※2} ④	△6,606	△6,436	170
資産運用・その他 ⑤	1,132	1,315	183
その他(特別損益・法人税等) ⑥	△538	△586	△47
国内損保計 ⑦	1,133	1,627	493
国内生保子会社 ⑧	486	541	54
海外保険子会社 ⑨	△90	141	231
その他(連結調整等) ⑩	△30	△263	△233

※1 国内損保は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の金額の合計

※2 「事業費ほか」には、為替損益などが含まれる

グループ連結（2021年度第3四半期）③グループ修正利益

・グループ修正利益は、国内損保事業や海外事業が大幅な増益となり、国内生保事業も増益となったことから747億円の増益。

(億円)

	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期		2021年度通期予想(11月発表)	
			前年同期比		進捗率
グループ修正利益 ※1	2,012	2,760	747	3,000	92.0%
国内損保事業	1,527	1,931	404	1,990	97.1%
国内生保事業	499	554	55	450	123.3%
海外事業	△ 45	251	296	500	50.4%
金融サービス事業/リスク関連事業	31	22	△ 8	60	37.6%

※1「グループ修正利益」の定義は最終ページご参照。なお「グループ修正ROE」は年度末に開示。

(参考)

$$\text{グループ修正利益 } 2,760 = \text{連結四半期純利益 } 2,046 + \text{異常危険準備金等繰入・戻入額}^{\ast 2} 468 - \text{その他特殊要因}^{\ast 3} \Delta 244 + \text{非連結グループ会社持分利益 } 1$$

※2 繰入の場合は加算、戻入の場合は減算

※3 のれん償却等△186

グループ連結（2021年度第3四半期）④当年度発生自然災害ロス

- ・国内の自然災害ロスは△223億円減少の365億円。
- ・海外の自然災害ロスは、欧州洪水やハリケーン・アイダを主因に346億円増加の578億円。

国内自然災害の影響

(億円)

	インカードロス			インカードロス 通期予想 (11月発表)
	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	前年同期比	
三井住友海上	360	218	△ 142	310
あいおいニッセイ同和損保	228	147	△ 81	200
合計	589	365	△ 223	510

海外自然災害の影響

	インカードロス			インカードロス 通期予想 (11月発表)
	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	前年同期比	
あいおいニッセイ同和損保	61	223	162	275
MS Amlin ^{※1}	170	410	240	465
上記以外(三井住友海上、海外子会社)	-	64	64	59
連結調整 ^{※2}	-	△ 120	△ 120	△ 120
合計	231	578	346	680

(参考:2021年度第3四半期)^{※1}

欧州洪水	240
ハリケーン・アイダ [*]	309

※1 MS Amlinの欧州洪水およびハリケーン・アイダに係る計上額は311億円。

※2 連結調整は、2020年度に追加計上した2021年2月北米寒波に係る損害見込額の戻入。

※ 海外自然災害の集計範囲は社内管理ベース。三井住友海上は欧州洪水およびハリケーン・アイダに限る。

国内・海外自然災害の影響の合計

	インカードロス			インカードロス 通期予想 (11月発表)
	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	前年同期比	
合計	820	943	122	1,190

国内損害保険会社（2021年度第3四半期）①主要2社の業績概要 1

・ 保険引受利益は、自動車保険や海外自然災害のロスが増加したものの、アード保険料の増加、国内自然災害のロスの減少などにより357億円の増益。

(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保(単体)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
正味収入保険料 ^{※1}	21,488	199	11,787	103	9,700	96
アード保険料 ^{※2}	19,298	650	10,691	355	8,606	295
インカードロス(含む損害調査費) ^{※2}	(-)	11,371	6,290	235	5,081	210
保険引受に係る事業費 ^{※2}	(-)	6,644	3,593	63	3,050	35
諸手数料及び集金費 ^{※2}	4,139	101	2,193	55	1,945	45
営業費及び一般管理費 ^{※2}	2,504	△ 2	1,400	7	1,104	△ 10
保険引受利益(異常危険準備金反映前)	1,490	375	905	179	585	195
異常危険準備金損益	△ 593	△ 18	△ 397	△ 127	△ 195	108
保険引受利益	897	357	507	52	389	304
EI損害率 ^{※2}	58.9%	0.3pt	58.8%	0.2pt	59.0%	0.4pt
正味損害率 ^{※1}	59.2%	0.3pt	58.5%	△ 1.0pt	60.0%	1.8pt
正味事業費率 ^{※1}	33.7%	0.2pt	32.8%	0.3pt	34.8%	0.1pt
コンバインド・レシオ ^{※1}	92.9%	0.5pt	91.3%	△ 0.7pt	94.8%	1.9pt

※ アード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※1 全種目ベース

※2 除く家計地震・自賠責ベース

国内損害保険会社（2021年度第3四半期）①主要2社の業績概要 2

・ 資産運用・その他収支は、有価証券評価損が増加したものの、ファンドや海外子会社、政策株式からの配当金の増加、政策株式・ファンドの売却益の増加などにより183億円増加。

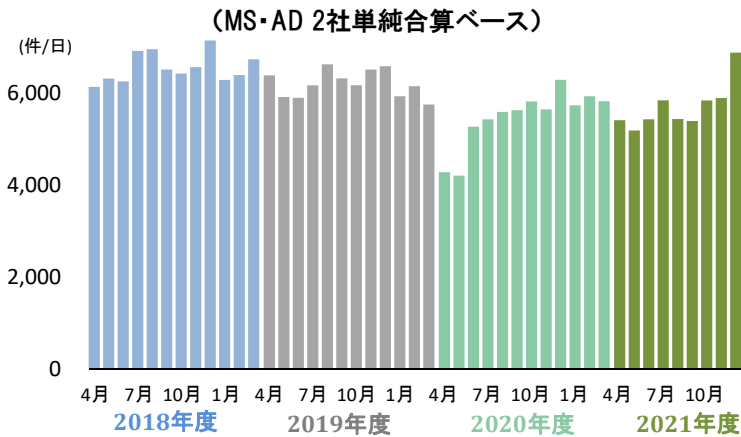
(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保(単体)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
保険引受利益	897	357	507	52	389	304
ネット利息及び配当金収入	1,205	300	870	284	335	15
有価証券売却損益	577	154	473	169	104	△ 14
有価証券評価損 (-)	311	271	274	247	36	23
資産運用・その他収支	1,315	183	946	154	369	28
経常利益	2,213	540	1,454	207	759	332
特別損益	△ 130	△ 35	△ 75	△ 43	△ 55	7
税引前四半期純利益	2,082	504	1,379	163	703	340
法人税等	455	11	275	△ 104	180	115
四半期純利益	1,627	493	1,103	267	523	225
(参考)政策株式売却額	731	101				

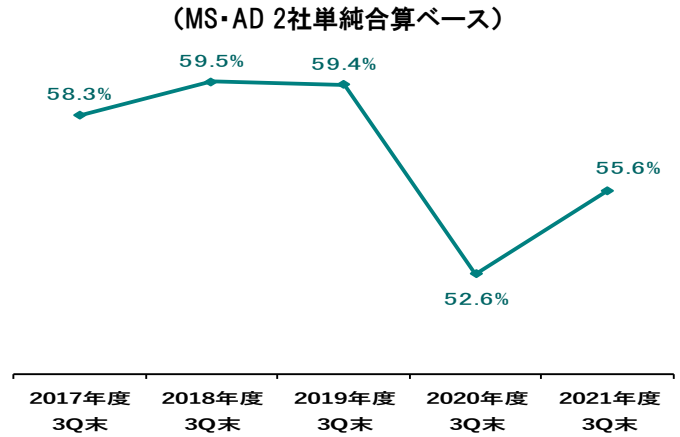
国内損害保険会社（2021年度第3四半期）②自動車保険の状況

- ・事故件数は、外出自粛による交通量減少によって大きく減少した昨年の反動により、第3四半期累計で前年同期比6.8%の増加。ただし、2019年度の第3四半期累計との比較では△8.3%の減少。12月は降雪の影響により事故件数が増加。
- ・EI損害率は3.0pt上昇の55.6%。

事故件数の推移（国内、1日あたり、除く自然災害）



EI 損害率の推移（含む損害調査費）



保険料・保険金

三井住友海上

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.3%	△0.2%	+0.2%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+1.2%	+1.7%	

あいおいニッセイ同和損保

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.5%	+0.3%	+0.7%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+0.5%	+1.7%	

※ 保険料増減要因の諸数値は営業成績ベース（4-12月）の対前年同期比

※ 保険金単価の増減は、2021年3月末過去1年間の保険金単価に対する、2021年12月末過去1年間の保険金単価の増減を表示

※ EI損害率算出対象期間は、各年度の4-12月

国内生命保険会社 三井住友海上あいおい生命（2021年度第3四半期）業績概要

- ・新契約年換算保険料は、法人向け定期保険の販売増加等により6.3%の増加。なお、2019年度対比では△5.9%。
- ・四半期純利益は、責任準備金繰入負担の減少や資産運用収益の増加、経費の削減等により43億円の増益。

三井住友海上あいおい生命

(億円)

	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	前年同期差	
				前年同期差	増減率
新契約高（個人合計）	15,492	13,051	13,031	△20	△0.2%
新契約年換算保険料	217	192	204	12	6.3%
うち 第三分野	147	108	108	△0	△0.6%
保有契約高（個人合計）	-（2021年度期首）	242,669	239,735	（2021年度期首比）△2,934	△1.2%
保有契約年換算保険料	-（2021年度期首）	4,479	4,452	（2021年度期首比）△26	△0.6%
うち 第三分野	-（2021年度期首）	1,460	1,511	（2021年度期首比）50	3.5%
保険料（グロス収入保険料）	3,828	3,758	3,705	△53	△1.4%
経常利益	148	209	273	64	30.5%
特別損益	△8	△8	△9	△1	-
四半期純利益	69	127	170	43	34.0%
基礎利益	127	192	254	61	32.2%

国内生命保険会社 三井住友海上プライマリー生命（2021年度第3四半期）業績概要

- ・グロス収入保険料は、新型コロナウイルスの新規感染者の減少に伴う経済活動の回復等を背景として順調に推移し、29.5%増収。なお、2019年度対比では△3.1%。
- ・経常利益は、運用目標値に到達した契約が多数発生した前年同期に比べ責任準備金の繰入負担が増加したことなどにより減益。四半期純利益は価格変動準備金への繰入額が減少したことから10億円の増益。

三井住友海上プライマリー生命

(億円)

	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	前年同期比	
				前年同期比	増減率
新契約高（個人合計）	6,894	5,099	6,644	1,545	30.3%
保有契約高（個人合計）	-（2021年度期首）	65,958	66,072	（2021年度期首比） 114	0.2%
保険料（グロス収入保険料）	6,818	5,101	6,608	1,506	29.5%
経常利益	171	624	535	△ 89	△ 14.3%
特別損益	87	△ 127	△ 24	102	-
価格変動準備金繰入・戻入	87	△ 127	△ 24	102	-
四半期純利益	188	359	370	10	3.0%

金利・為替影響

(億円)

	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期
金利影響	△ 11	268	125
為替影響	△ 104	△ 169	23
合計*	△ 116	99	148

* 有価証券売却損益を含む(2020年度第3四半期 +685億円、2021年度第3四半期 +61億円)

海外保険子会社（2021年度第3四半期）業績概要

- ・正味収入保険料は、引受厳選による減収等もあったものの、料率引き上げや為替影響等により491億円の増収。
- ・四半期純利益は、前期の新型コロナ影響の剥落や海外生保の大幅な増益などにより231億円の増益。MS AmlinについてはP22を参照。

海外保険子会社

(億円)

	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	前年同期比	
				前年同期比	増減率
正味収入保険料	5,819	5,233	5,725	491	9.4%
アジア	1,362	1,285	1,306	21	1.6%
欧州	4,127	3,645	4,080	434	11.9%
米州	328	302	338	35	11.8%
四半期純利益	300	△ 90	141	231	-
アジア	144	205	230	25	12.2%
欧州*	62	△ 292	△ 258	34	-
米州	22	33	39	5	17.6%
海外生保	70	△ 36	129	166	-

* 2021年度第3四半期実績(△258億円)は、2020年度の連結決算に追加計上した北米寒波ロスの影響(△101億円)を含む。同影響を除いた四半期純利益は△156億円。

(ご参考) 国内損害保険会社 (2021年度第3四半期) 主要2社の業績概要 1

正味収入保険料

(億円)

	2社合計(単純合計)			三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ 同和損保(単体)	
	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増収率	2021年度 第3四半期	増収率	2021年度 第3四半期	増収率
火災	3,321	3,186	Δ4.0%	1,722	Δ2.3%	1,463	Δ6.0%
海上	436	496	13.7%	448	16.0%	48	Δ3.4%
傷害	1,511	1,546	2.3%	1,093	2.3%	453	2.6%
自動車	10,555	10,760	1.9%	5,152	0.9%	5,608	2.9%
自賠責	2,266	2,150	Δ5.1%	1,113	Δ6.3%	1,036	Δ3.9%
その他	3,196	3,346	4.7%	2,257	4.0%	1,089	6.1%
合計	21,288	21,488	0.9%	11,787	0.9%	9,700	1.0%
除く家計地震・自賠責	19,018	19,335	1.7%	10,672	1.7%	8,662	1.6%

(ご参考) 国内損害保険会社 (2021年度第3四半期) 主要2社の業績概要 2

EI損害率 (2社単純合算)

	EI損害率			EI損害率(除く自然災害影響)		
	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	前年同期比	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	前年同期比
火災 (除く家計地震)	81.6%	72.0%	Δ9.6pt	63.4%	54.5%	Δ8.9pt
海上	55.3%	62.0%	6.7pt	55.2%	61.9%	6.7pt
傷害	49.7%	53.6%	3.9pt	49.7%	53.6%	3.9pt
自動車	52.6%	55.6%	3.0pt	52.3%	55.3%	3.0pt
その他	60.9%	58.6%	Δ2.3pt	60.1%	58.0%	Δ2.1pt
合計 (除く家計地震・自賠責)	58.6%	58.9%	0.3pt	55.3%	55.7%	0.4pt

※ インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※ EI損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカードロスの合計から2018年度発生自然災害に係るキャットボンド回収額を控除したもの

(ご参考) 国内損害保険会社(2021年度第3四半期) 主要2社の業績概要 3

EI損害率(三井住友海上(単体)、あいおいニッセイ同和損保(単体))

	EI損害率				EI損害率(除く自然災害影響)			
	三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保(単体)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保(単体)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
火災 (除く家計地震)	70.0%	Δ9.5pt	74.4%	Δ9.7pt	57.0%	Δ4.7pt	51.6%	Δ13.8pt
海上	60.6%	7.2pt	72.4%	2.7pt	60.6%	7.3pt	72.4%	2.7pt
傷害	54.3%	5.5pt	52.1%	0.2pt	54.3%	5.5pt	52.1%	0.2pt
自動車	56.2%	2.7pt	55.1%	3.2pt	56.0%	2.9pt	54.7%	3.1pt
その他	57.8%	Δ3.1pt	60.4%	Δ0.5pt	57.2%	Δ2.9pt	59.6%	Δ0.5pt
合計 (除く家計地震・自賠責)	58.8%	0.2pt	59.0%	0.4pt	56.4%	1.0pt	54.7%	Δ0.4pt

※ インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※ EI損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカードロスの合計から2018年度発生自然災害に係るキャットボンド回収額を控除したもの

(ご参考) MS Amlin 2021年度第3四半期(2021年1-9月期)業績概要※1

- ・アード保険料は、着実に保険料率上昇の効果は出ている一方で、AULにて前年に実施した不採算種目からの撤退や、引受厳選、為替影響等により△262百万ポンドの減収となった。
- ・グループ修正利益は、ハリケーン・アイダや欧州洪水などの自然災害の影響に加え、再保険事業の一部一般種目において備金積増を行ったこと等により△120百万ポンドとなったが、前期比では、コロナロスの剥落を主因に、89百万ポンドの増益となった。

(百万ポンド)

	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	前年同期比
正味収入保険料	2,407	2,440	33
アード保険料	2,229	1,967	Δ262
インカードロス(含む損害調査費)	1,697	1,507	Δ190
手数料・社費	765	696	Δ69
保険引受利益	Δ235	Δ234	1
資産運用損益※2	90	91	1
その他損益※3	Δ68	Δ51	18
四半期純利益	Δ209	Δ190	19
グループ修正利益※4	Δ209	Δ120	89
EI 損害率	76.2%	76.6%	0.4pt
EI 事業費率※5	34.3%	35.3%	1.0pt
EI コンバインド・レシオ※5	110.5%	111.9%	1.4pt

(百万ポンド)

※1 現地管理ベース

※2 有価証券の時価変動を損益に反映させる会計処理方法を採用

※3 保険事業会社以外で生じる経費等

※4 2021年度実績は、2020年度に連結決算上追加計上した北米寒波ロス影響の戻入+69百万ポンド等を反映したベース

※5 EI 事業費率およびEI コンバインド・レシオは、現地管理に合わせて保険引受利益に含まれる為替差損益を含めて算出

	2020年度 第3四半期	2021年度第3四半期			
		うちAUL	うちAAG	うちAISE	
大口自然災害 インカードロス	125	272	98	160	14
新型コロナに係る インカードロス	281	58	25	38	▲6

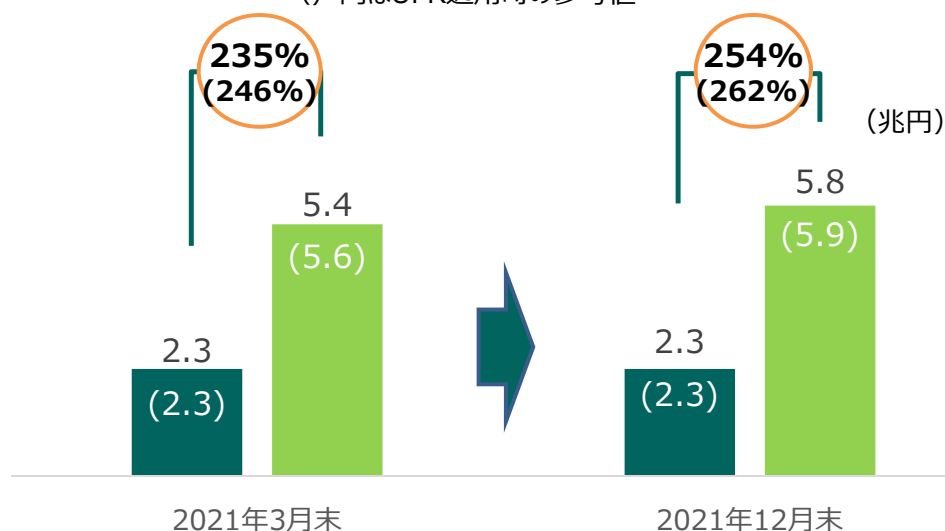
(AUL:ロイズ事業、AAG:再保険事業、AISE:欧州元受保険事業)

(ご参考) ESRの状況

ESR^(注1)

■ 統合リスク量^(注2) ■ 時価純資産

() 内はUFR適用時の参考値



<ESRの主な増減要因> (2021年3月末対比)

ESRは、主に以下の要因により19pt上昇。

- ✓ 時価純資産は、内部留保の増加に伴い増加。
- ✓ 統合リスク量は、為替円安等により増加したものの、政策株式の削減等のリスク削減取組によりほぼ同水準。

※ 2022年3月末には、劣後債の償還（約▲5ポイントの影響）などにより、低下する見込み。

<市場環境前提>

	2021年 3月末	2021年 12月末	対2021年 3月末比
日経平均株価	29,179円	28,792円	▲387円
国債30年金利	0.67%	0.69%	+0.02pt
為替 (ドル円)	111円	115円	+4円

(注1) ESR : エコノミック・ソルベンシー・レシオ (= 時価純資産 ÷ 統合リスク量)

(注2) 統合リスク量 : 信頼水準99.5%のVaR (Value at Risk) でリスク量を計測。

2021年度業績予想

以降は、2021年度業績予想
(2021.11.19 発表) の資料を
参考までに掲載しております

グループ連結（2021年度業績予想）①概要1（トップライン）

<参考> 2021年度業績予想
(2021.11.19 発表)

- ・ 損保子会社の正味収入保険料は、国内損保子会社を引き上げたものの、海外保険子会社が為替影響などから年初計画を下回る見込みとなったことにより年初予想比△330億円の引き下げ。
- ・ 生保子会社のグロス収入保険料は、販売の拡大により550億円の引き上げ。

損保子会社

(億円)

	2020年度	2021年度 (年初予想)	2021年度(今回予想)			
			前期比	増収率	年初予想比	
正味収入保険料	35,009	36,130	35,800	790	2.3%	△ 330
三井住友海上	15,595	15,660	15,700	104	0.7%	40
あいおいニッセイ同和損保	12,814	12,870	12,890	75	0.6%	20
三井ダイレクト損保	364	364	364	-	-	-
海外保険子会社	6,235	7,240	6,850	614	9.9%	△ 390

生保子会社

(億円)

	2020年度	2021年度 (年初予想)	2021年度(今回予想)			
			前期比	増収率	年初予想比	
保険料(グロス収入保険料)*	12,973	12,000	12,550	△ 423	△ 3.3%	550
三井住友海上あいおい生命	5,119	5,000	5,050	△ 69	△ 1.4%	50
三井住友海上プライマリー生命	7,854	7,000	7,500	△ 354	△ 4.5%	500
生命保険料	△ 2,023	6,700	6,450	8,473	-	△ 250

* 保険料(グロス収入保険料)は国内生保子会社のみ

グループ連結（2021年度業績予想）①概要2（ボトムライン）

<参考> 2021年度業績予想
(2021.11.19 発表)

- ・ 海外保険子会社を引き下げた一方、国内損保子会社と国内生保子会社を引き上げたことなどから、年初予想どおりの2,300億円。

(億円)

	2020年度	2021年度 (年初予想)	2021年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
経常利益	3,065	3,300	3,300	234	-
三井住友海上	1,316	1,750	1,820	503	70
あいおいニッセイ同和損保	324	650	720	395	70
当期純利益*	1,443	2,300	2,300	856	-
三井住友海上	922	1,310	1,380	457	70
あいおいニッセイ同和損保	216	430	480	263	50
三井ダイレクト損保	8	1	2	△ 6	1
三井住友海上あいおい生命	119	180	180	60	-
三井住友海上プライマリー生命	431	230	250	△ 181	20
海外保険子会社	△ 31	550	390	421	△ 160
その他・連結調整等	△ 221	△ 401	△ 382	△ 160	19
ROE(財務会計ベース)	5.2%	7.3%	7.2%	2.0pt	△ 0.1pt

* 連結の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益。子会社の当期純利益は出資持分ベース。以下同じ。

グループ連結（2021年度業績予想）②年初予想との比較

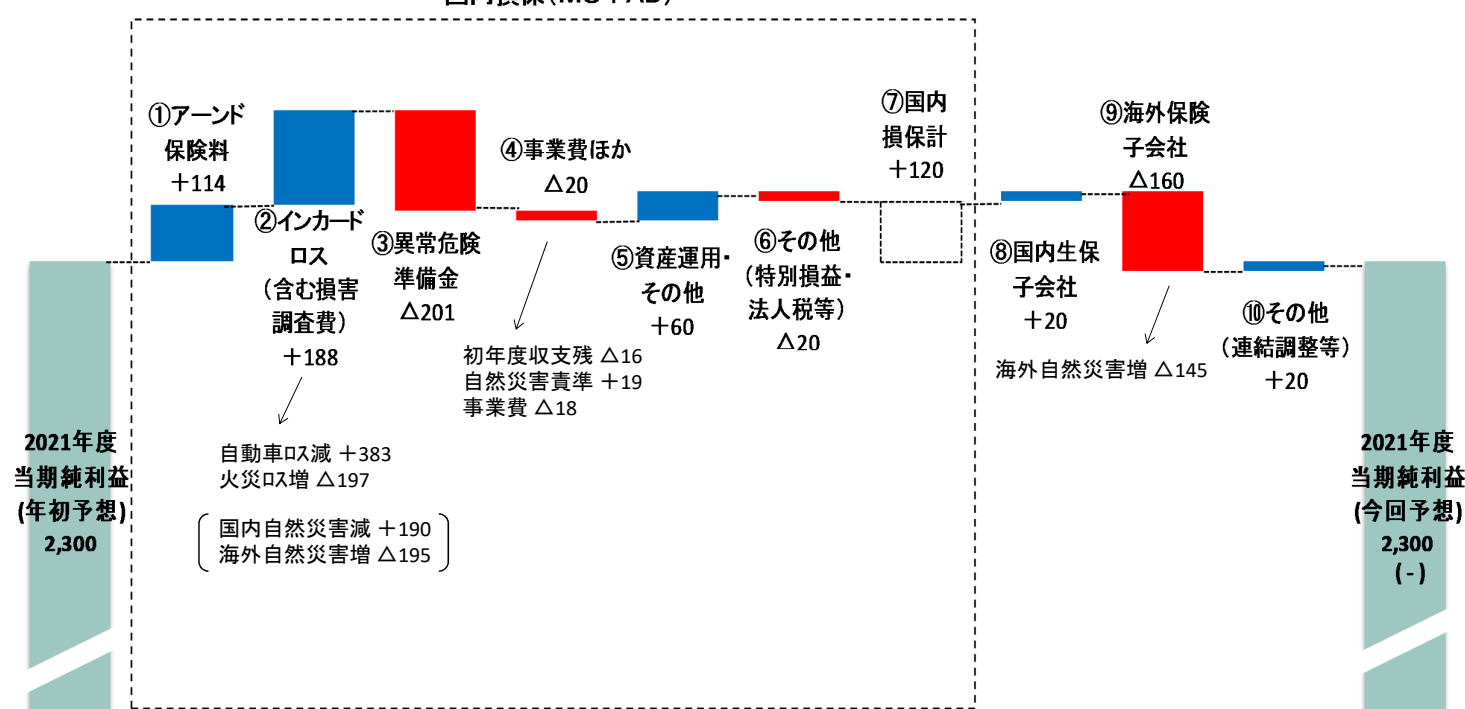
<参考> 2021年度業績予想
(2021.11.19 発表)

- ・国内損保は、販売好調によるアード保険料(①)の増加、自動車保険のインカードロスの減少、利配収入および有価証券売却益の増加による資産運用・その他(⑥)の増加などがプラス要因となり年初予想比120億円の引き上げ。
- ・海外保険子会社(⑨)は自然災害のロスの増加等により△160億円の引き下げとなったものの、当期純利益は年初予想どおりの2,300億円。

連結純利益の年初予想比増減要因

(億円)

国内損保(MS+AD)



グループ連結（2021年度業績予想）③グループ修正利益

<参考> 2021年度業績予想
(2021.11.19 発表)

- ・グループ修正利益は、海外事業を引き下げたものの、国内損保事業、国内生保事業を引き上げたことから、年初予想どおりの3,000億円。

(億円)

	2020年度	2021年度 (年初予想)	2021年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
グループ修正利益	2,146	3,000	3,000	853	-
国内損保事業	1,585	1,710	1,990	404	280
国内生保事業	569	430	450	△ 119	20
海外事業	△ 71	800	500	571	△ 300
金融サービス事業/リスク関連事業	61	60	60	△ 1	-
その他経営数値目標					
MSA生命 EEV	9,583	10,100	9,630	46	△ 470
グループ修正ROE	6.7%	8.5%	8.5%	1.8pt	-

		三井住友海上		あいおいニッセイ同和損保	
市場環境の前提		2021年9月末の水準を想定			
		(参考(2021年9月末) 日経平均 29,453円、米ドル 112円、ユーロ 130円、英ポンド 150円)			
国内自然災害		310億円	(△ 90億円)	200億円	(△ 100億円)
異常危険準備金 (火災保険)	繰入	225億円	(+ 6億円)	331億円	(+ 10億円)
	取崩	242億円	(△ 15億円)	279億円	(△ 17億円)
	積増	△ 17億円	(+ 21億円)	52億円	(+ 27億円)
異常危険準備金 (自動車保険)	繰入	221億円	(△ 2億円)	241億円	(+ 1億円)
	取崩	-	(△ 4億円)	-	(△ 99億円)
	積増	221億円	(+ 2億円)	241億円	(+ 100億円)
法定実効税率		27.9%			

※ 海外自然災害について、MS Amlin・連結調整は345億円(+135億円)。

あいおいニッセイ同和損保は275億円(+145億円)。

※ ()内は年初予想比

国内損害保険会社（2021年度業績予想）主要2社の概要 1

＜参考＞2021年度業績予想
(2021.11.19 発表)

(億円)

	2社合計(単純合計)			三井住友海上(単体)			あいおいニッセイ同和損保(単体)			
	前期比	年初 予想比		前期比	年初 予想比		前期比	年初 予想比		
正味収入保険料 ^{※1}	28,590	180	60	15,700	104	40	12,890	75	20	
アード保険料 ^{※2}	25,700	740	114	14,246	436	55	11,454	303	59	
インカードロス(含む損害調査費) ^{※2}	(-)	15,301	208	△ 188	8,409	14	△ 37	6,892	194	△ 151
保険引受に係る事業費 ^{※2}	(-)	8,916	116	18	4,840	82	△ 5	4,076	34	23
諸手数料及び集金費 ^{※2}		5,437	81	20	2,886	49	2	2,551	32	18
営業費及び一般管理費 ^{※2}		3,479	34	△ 2	1,954	32	△ 7	1,525	1	5
保険引受利益(異常危険準備金反映前)	1,646	878	281	1,031	471	96	615	406	185	
異常危険準備金損益	△ 646	7	△ 201	△ 361	△ 40	△ 46	△ 285	48	△ 155	
保険引受利益	1,000	885	80	670	430	50	330	454	30	
EI損害率 ^{※2}	59.5%	△ 1.0pt	△ 1.0pt	59.0%	△ 1.8pt	△ 0.5pt	60.2%	0.1pt	△ 1.6pt	
正味損害率 ^{※1}	60.7%	1.4pt	△ 2.0pt	60.4%	0.6pt	△ 1.6pt	61.2%	2.6pt	△ 2.3pt	
正味事業費率 ^{※1}	34.0%	0.3pt	-	33.1%	0.4pt	△ 0.1pt	35.1%	0.2pt	0.1pt	
コンバインド・レシオ ^{※1}	94.7%	1.7pt	△ 2.0pt	93.5%	1.0pt	△ 1.7pt	96.3%	2.8pt	△ 2.2pt	

※1 全種目ベース

※2 除く家計地震・自賠責ベース

※ アード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

(億円)

	2社合計(単純合計)			三井住友海上(単体)			あいおいニッセイ同和損保		
		前期比	年初 予想比		前期比	年初 予想比	(単体)	前期比	年初 予想比
保険引受利益	1,000	885	80	670	430	50	330	454	30
ネット利息及び配当金収入	1,292	172	151	924	216	121	368	△ 43	30
有価証券売却損益	781	108	111	606	108	76	175	0	35
有価証券評価損 (一)	292	273	212	207	198	177	85	75	35
資産運用・その他収支	1,540	13	60	1,150	73	20	390	△ 59	40
経常利益	2,540	899	140	1,820	503	70	720	395	70
特別損益	△ 146	△ 76	△ 7	△ 56	△ 62	△ 12	△ 90	△ 13	5
当期純利益	1,860	721	120	1,380	457	70	480	263	50

主要項目

(億円)

	2020年度	2021年度 (年初予想)	2021年度(今回予想)	
			増減率/前期差	年初予想比
新契約高 [※]	17,690	18,977	18,500	4.8% △477
新契約年換算保険料 [※]	262	294	291	10.7% △3
保有契約高 [※]	242,669	243,322	241,700	△0.4% △1,622
保有契約年換算保険料 [※]	4,479	4,462	4,455	△0.6% △7
保険料(グロス収入保険料)	5,119	5,000	5,050	△1.3% 50
経常利益	256	352	356	100 4
当期純利益	119	180	180	61 -

※新契約高、新契約年換算保険料、保有契約高、保有契約年換算保険料は、個人保険・個人年金保険の合計

主要項目

(億円)

	2020年度	2021年度 (年初予想)	2021年度(今回予想)		
				増減率/前期比	年初予想比
新契約高	7,882	7,034	7,546	△ 4.3%	511
保有契約高	65,958	63,990	63,990	△ 3.0%	-
保険料(グロス収入保険料)	7,854	7,000	7,500	△ 354	500
経常利益	1,600	354	344	△ 1,257	△ 10
当期純利益	431	230	250	△ 181	20

海外保険子会社 (2021年度業績予想)

＜参考＞2021年度業績予想
(2021.11.19 発表)

- ・ 正味収入保険料は、欧州の予想を引き下げたことなどから△390億円の引き下げ。
- ・ 当期純利益は、アジアや海外生保を引き上げたものの、欧州を自然災害ロスが増加等から引き下げたことを主因に△160億円の引き下げ。

海外保険子会社

(億円)

	2020年度	2021年度 (年初予想)	2021年度(今回予想)		
				前期比	年初予想比
正味収入保険料	6,235	7,240	6,850	614	△ 390
アジア	1,693	1,829	1,793	98	△ 36
欧州	4,133	4,935	4,602	468	△ 333
米州	407	475	455	47	△ 20
当期純利益	△ 31	550	390	421	△ 160
アジア	239	253	272	32	19
欧州	△ 311	130	△ 73	238	△ 203
米州	42	50	47	4	△ 3
海外生保	△ 2	116	144	146	28

正味収入保険料

(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保	
		増収率		増収率	(単体)	増収率
火災	4,247	Δ3.7%	2,250	Δ3.6%	1,997	Δ3.9%
海上	632	5.2%	575	8.4%	57	Δ18.5%
傷害	2,086	2.4%	1,494	2.5%	592	2.2%
自動車	14,395	1.9%	6,912	1.1%	7,483	2.6%
自賠責	2,792	Δ7.1%	1,447	Δ8.0%	1,345	Δ6.1%
その他	4,437	5.0%	3,021	5.4%	1,416	4.2%
合計	28,590	0.6%	15,700	0.7%	12,890	0.6%
除く家計地震・自賠責	25,794	1.6%	14,250	1.6%	11,544	1.4%

EI損害率

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保(単体)	
		前期比		前期比		前期比
火災	72.3%	Δ13.9pt	71.0%	Δ14.5pt	73.8%	Δ13.1pt
海上	57.5%	Δ0.4pt	57.4%	1.2pt	58.7%	Δ12.7pt
傷害	53.8%	3.4pt	53.1%	4.4pt	55.4%	0.5pt
自動車	57.3%	2.9pt	58.1%	2.2pt	56.7%	3.7pt
その他	57.1%	Δ4.1pt	55.1%	Δ6.0pt	61.4%	0.2pt
合計(除く家計地震・自賠責)	59.5%	Δ1.0pt	59.0%	Δ1.8pt	60.2%	0.1pt
(除く自然災害影響)	56.3%	Δ0.8pt	56.6%	Δ1.3pt	56.0%	0.0pt

※ インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※ EI損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカードロスの合計から2018年度発生自然災害に係るキャットボンド回収額を控除したものの

- ・グループ修正利益は、前期比+278百万ポンドの13百万ポンド。
- ・グループ修正利益の年初予想比△143百万ポンドは、当年度大口自然災害ロスの増加(△105百万ポンド)、新型コロナロスの増加(△46百万ポンド)、事業費の減少等。

	2020年度	2021年度 (年初予想)	2021年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
正味収入保険料	2,681	2,923	2,727	46	△ 196
アード保険料	2,937	2,848	2,614	△ 323	△ 234
インカードロス(含む損害調査費)	2,196	1,760	1,766	△ 430	6
保険引受利益	△ 277	60	△ 99	178	△ 159
資産運用損益※2	144	99	99	△ 45	0
その他損益※3	△ 99	△ 87	△ 79	20	8
当期純利益	△ 222	79	△ 65	157	△ 144
グループ修正利益	△ 265	156※4	13※4	278	△ 143

- ※1 MS Amlin各社の業績予想の合算値
- ※2 MS Amlinは有価証券の時価変動を損益に反映させる会計処理方法を採用
- ※3 保険事業会社以外で生じる経費等
- ※4 2020年度に連結決算上追加計上した北米寒波ロス影響の戻入+69百万ポンドを含む

当年度大口自然災害ロスの増加△105百万ポンド
新型コロナロスの増加△46百万ポンド等

この資料では、社名表示に次の略称を使用している箇所があります。

- ・ MS&ADホールディングス、持株会社 (＝MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス(株))
- ・ MS&AD (＝MS&ADインシュアランス グループ)
- ・ 三井住友海上、MS (＝三井住友海上火災保険(株))
- ・ あいおいニッセイ同和損保、AD (＝あいおいニッセイ同和損害保険(株))
- ・ 三井ダイレクト損保、MD (＝三井ダイレクト損害保険(株))
- ・ 三井住友海上あいおい生命、MSA生命 (＝三井住友海上あいおい生命保険(株))
- ・ 三井住友海上プライマリー生命、MSP生命 (＝三井住友海上プライマリー生命保険(株))
- ・ MS Amlin (＝AUL、AAG、AISE、ACSを主とする各事業の合計)

AUL(＝MS Amlin Underwriting Limited)
AAG(＝MS Amlin AG)
AISE(＝MS Amlin Insurance SE)
ACS(＝MS Amlin Corporate Services Limited)

「グループ修正利益、修正純資産、グループ修正ROE」の定義

グループ修正利益 = 連結当期利益 + 異常危険準備金等繰入・戻入額 - その他特殊要因（のれん・その他無形固定資産償却額等）+ 非連結グループ会社持分利益

修正純資産 = 連結純資産 + 異常危険準備金等 - のれん・その他無形固定資産

グループ修正ROE = グループ修正利益 ÷ 修正純資産（期初・期末平均）

予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、MS & ADホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります。

お問い合わせ先

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
広報・IR部

TEL: 03-5117-0311

URL: <https://www.ms-ad-hd.com/ja/ir/contact.html>